

# 女性活躍応援事業【新潟県新潟市】

## 地域の実情と課題

- 女性の就業率が高く、全国と比してM字カーブの谷は浅い。25歳から49歳までの年代では就業者と就業希望者の合計が女性全体の約9割を占める。
- 管理職への女性登用が進んでいない。管理的職業従事者における女性の割合は全国平均や政令市平均より低い。
- 中小企業で働く女性が多い。女性の74.9%が従業員数99人以下の事業所で働いており、ロールモデルが少ない。

## 事業の特徴

- にいがた女性おうえんフェスタ…対象者別の分科会を複数開催することにより、働く女性や働きたい女性が今置かれている立場や抱えている悩みに応じたセミナーを選択できるようにした。
- 働く女性のネットワークづくり交流会…起業家支援の著名人による講演、参加者同士の交流会、地元で活躍するフリーアナウンサーによるコミュニケーション講座などを組み合わせることにより、複数のロールモデルに出会えるようにした。

## 事業の効果

- にいがた女性おうえんフェスタ…15～64歳の有業率(アウトカム)は今年度分としては算出できないが、困難があっても働き続けようという意思が感じられるような感想が多く寄せられた。
- 働く女性のネットワークづくり交流会…管理的職業従事者に占める女性の割合(アウトカム)は今年度分としては算出できないが、講師や他の参加者から刺激を受け、自分もいきいきと働こうとする前向きな感想が多く聞かれた。

## 目的・目標

- セミナーイベント「にいがた女性おうえんフェスタ」の開催により、働く女性・働きたい女性を多方面から支援する。働くことを希望する女性がすべて働けるよう、計画年度が終了する2021年3月に15～64歳女性の有業率73.3%を目指す。
- 上記イベントや「働く女性のネットワークづくり交流会」により働いている女性の意識を高め、2021年3月に管理的職業従事者における女性割合30%を目指す。

## 連携団体

- 経済団体、労働団体や関係機関などで構成する「新潟市WLB・女性活躍推進協議会」と共催し、対象者への周知を図った。
- にいがた女性おうえんフェスタ…本市と「地方創生に関する包括連携協定」を結んだ東京海上日動火災保険株式会社と連携し、講師派遣や運営などの協力をいただいた。
- 働く女性のネットワークづくり交流会…既存の異業種交流団体「ワーキング・ウィメンズ・アソシエーション」に委託した。

## 今後の課題

- にいがた女性おうえんフェスタ…開催時期や場所について今後も検討が必要。また、興味のない層をどのように取り込むかが課題。
- 働く女性のネットワークづくり交流会…参加者同士が自走可能なネットワークを形成できるようにサポートしていきたい。

# 事業の概要

## にいがた女性おうえんフェスタ2018

■日時 平成30年6月30日(土)

■場所 クロスパルにいがた

■目的 働く女性・働きたい女性の支援

本市の有職女性は約3人にひとりが「自分の自由になる時間がない」、約5人にひとりが「家事ができない」ことを、働いていることによる職場以外の問題として捉えている。

家事を効率化すると同時に、本市の女性が自らの希望する働き方を実現できるように支援することで、新潟市女性活躍推進計画で本市の目指す姿として掲げる「女性がいきいきと働けるまち」を目指す。

■テーマ及び対象者



テーマ	対象者
基調講演「時短家事と手帳管理で、なりたい私になる！」	働く女性・働きたい女性
分科会①「知っておきたいカラダのサイン」	働く女性・働きたい女性
分科会②「ママのための再就職支援講座」	再就職を希望する母と家族
分科会③「先輩社会人に聞く！自分サイズのワーク・ライフ・バランス」	学生
分科会④「4大ハラスメント防止セミナー」	経営者・管理職
分科会⑤「働き続けるための今どきの介護のカタチ」	働く男女
分科会⑥「『好き』を仕事にする方法」	起業に興味のある女性
分科会⑦「楽しい！汚れない！パッククッキング」	小学生と父親

## 働く女性のネットワークづくり交流会

■日時 ①平成30年7月20日、②平成31年2月6日、③2月27日

■場所 ①ピアテラス ②③クロスパルにいがた



■目的 働く女性の異業種交流

本市では、働く女性のうち約7割が従業員数100人未満の事業所で働いており、職場内にロールモデルが少ない状況に置かれている。

社内だけではなく社外にも働く女性同士のネットワークを広げ、自分自身の働き方やキャリアを考えるとともに、お互いに支え合い高め合う存在となれるような仲間を見つけてもらおうと、初回は起業家支援の著名人による講演と参加者同士の交流会、第2回及び第3回は地元で活躍するフリーアナウンサーによるコミュニケーション講座を組み合わせで開催した。

今後、参加者同士が自走可能なネットワークを形成し異業種交流を図ることができるよう、2回目以降のプログラムは地元の女性異業種交流団体へ企画・運営を委託して実施した。

■参加者の感想

「可能性を自分で閉じないようにしていきたい」「同じグループ内の女性からもエネルギーを頂けた」など、前向きな感想が多く聞かれた。